

「避難所運営訓練」での受付の様様



「2019防災フェア」で親子で楽しく「防災すごろく」



公民館の沿革・年表

- ・昭和45年 4月 安芸町公民館開館
- ・昭和49年11月 広島市温品公民館と改称（市合併）
- ・昭和51年 4月 温品公民館だより1号発行
- ・昭和54年 6月 広島市温品公民館運営委員会設置
- ・昭和54年11月 第1回温品ふれあいフェスティバル開催
- ・平成 2年 2月 外壁明装工事完了
- ・平成30年 9月 「2018防災フェア(第1回)」開催
- ・令和元年 9月 「2019防災フェア(第2回)」開催
- ・令和 2年 9月 「避難所運営訓練」開催

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

- 「避難所運営訓練」での受付の様様
令和2年9月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「防災フェア」の規模を縮小し、防災士及び地域の町内会長等(88名)で実施。指定避難所を使用して、会場設営から、設備点検、受付など、地震を想定した訓練を実施。
- 「2019防災フェア」で親子が楽しみながら防災を学ぶ
地域団体等の協力を得て、公民館全体及び小学校グラウンドを使って、土石流発生装置、防災すごろく、防災づくり等を実施。防災について、楽しく、「見て・体験して・食べて学ぶ」。

1. 都道府県名	広島県	3. 公民館対象人口	12941人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	広島市	4. 建物設置年月日	昭和45年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	1台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財)広島市文化財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1250人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8145人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 5,130人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 13226人 ()				合計 27,751人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 4人				
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平和教育、男女共同参画社会対応等)				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (花ボランティアと共に一年中花いっぱい公民館づくりを行っている)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (温品幼稚園、温品・上温品小学校、温品・上温品児童館、温品中学校、安芸高校、東保健センター、東警察署、東消防署・東区消防団、福木・温品地域包括支援センター、JA広島温品支店、各種地域団体)				

広島市温品公民館

OPEN 8:30~22:00

H P www.cf.city.hiroshima.jp/nukushina-k/

TEL (082)289-0256

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当地域は山に囲まれ、ほぼ中央に川が流れ、田畑も点在するなど豊かな自然に恵まれているが、反面、**大雨時には川の氾濫の危険性が高く、多くが土砂災害警戒区域に指定されている**。近年、当地域でも護岸崩壊などの災害が多発しており、また、大正15年の豪雨災害の惨状を後世に伝える水害碑も設置されていること等から、**地域住民の災害に対する危機意識は高い**。
- 平成26年8月20日の広島豪雨災害を契機に自主防災会メンバーの防災意識が高まり、平成28年以降、地域の防災士が年々増加しており、活動の場が求められている。（現在 防災士24名）

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【住民主役の安全・安心なまちづくり ～公民館と防災士を中心とした「地域防災事業」～（地域防災・減災）】

上記の課題から、①防災士のスキルアップ、②防災士の学習成果の還元、③地域住民の絆づくり、④地域防災力の向上といった事業を実施。

● 防災士のスキルアップのための事業

①防災学習会・研修会：**防災士が中心となって月1回のペースで会議を開催し、防災フェアの企画や研修会などを実施**。②紙芝居「温芝居「温品水害碑物語」の作成：大正15年の水害を後世に伝えるため、**女性防災士が中心**となって令和元年度に半年かけて作成。

● 防災士の学習成果還元・地域住民の絆づくり・地域防災力の向上のための事業

①防災フェアを毎年9月に開催：平成30年度・令和元年度は、公民館全館と小学校グラウンドを使用し、女性会等の地域団体、消防署等の協力を得て、避難所受付シミュレーション、防災クイズラリー、避難所運営訓練ゲーム、防災すごろく、防災紙芝居、土石流発生装置、防災食づくり等を実施。約1,500名が参加。**防災について、見て、体験して、食べて学ぶ**。令和2年度は、指定避難所である小学校体育館を使用して、地震を想定した避難所運営訓練を実施。防災士、町内会長及び自主防災会長等88名が参加して、**会場設営から設備点検、受付、設定した居住区エリアへの案内までを行い、自分たちが主体的に運営することの大切さを学ぶ**。②女性のための防災講座：女性防災士が講師となり、女性を対象に避難所運営ゲームを実施。



防災学習会の模様



避難所運営訓練の模様

3. 取組による成果や効果

【防災フェア等のイベント開催による成果・効果】

- **公民館が拠点**となり、防災の必要性を感じていた人たちの力を結集し、連携。
- 地域住民の自主的な防災意識の高まり
- 県内でもモデル的な取組みとして紹介（中国新聞等）
- 防災士を主とした地域リーダーの育成
- 防災士の学習成果の還元と活動を通して新たな課題をみつけていく学びと活動の循環

【これまでの取組全体による成果・効果】

- 地域住民主体の事業運営を行うことで**一過性ではない継続した学びの場へ**



女性リーダーの育成

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 毎年「公民館自己評価」を行い、利用率等を数字で客観的に分析
- **事業実施後に参加者アンケートを実施**し、満足度や意見・感想を調査し、毎回見直しを図る
- 当館運営委員会で事業報告と事業計画を提出し、学習ニーズや地域課題に対応しているかを協議
- 館長が学校協力者会議や地域団体総会等に参加し、多様な意見を公民館運営に反映させる

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- **地域の拠点機能を果たす**ために地域団体等との連携等を密にし**人と人をつなげる公民館に**
- 地域を知り、住民との対話から課題とニーズを把握し、**住民主体**の学習機会を提供
- 地域リーダーの継続的活動の支援と参加者との学び合いによる**学びと活動の循環**
- **郷土愛を育む**ために幼少期から地域とつながる魅力ある事業を。将来**地域を担う力へ**



小学2年生公民館見学

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 現在の多くの学習グループは高齢化のために将来解散する可能性が高い。今後は、**若い世代を対象とした小さなグループ**からでも**利用者を増やす**必要がある。
- 少子化の中、**子どもたちの地域交流・体験は重要**で、この地域で楽しい体験・ふれあいの場をたくさん提供したい。それが自分の地域を大切に、**地域で生きる意識の高まりにつながる**。



子どもたちのものづくり体験